

第4学年1組 社会科学学習指導案

1 単元名 単元5「安全なくらしとまちづくり」 小単元(2)「災害からまちを守るために」

2 指導観

- 本学級の子どもは、これまでの学習で、見学やインタビュー、本やインターネット等の調べ活動に意欲的に取り組んでいた。また、単元「ごみはどこへ」のまとめでは、調べたことを生かした新聞をつくる活動を通して、社会的事象への自分なりの関わり方等を表現することができた。しかし、子ども一人一人に目を向けると、自分の考えを交流したり思考ツールを活用して表現したりすることに苦手意識をもっている子どもの姿も見られる。また、班での話し合いでは、話し合いの進め方が上手いかず、十分に学びが深まっているとは言えない場面も見られる。

前小単元「事故・事件のないまちをめざして」では、わたしたちのまちの安全は、警察や関係機関だけでなく、地域の人が協力し合うことにより守られているということを理解することができた。

本小単元では、火事の現場で消防署が消火活動にあっていることは全員知っている。しかし、消防署の防火への取組、身の回りの消防設備や防火の工夫、消防団の活動、関係機関の連携といった地域の安全を守る諸活動については気付いていない。また、近年の大規模な地震や水害の恐ろしさは漠然と知っていても、家庭や自分で行う防災への備えが大切であるということまでには意識が向いているとは言えない。

- 本小単元は、学習指導要領の第3・4学年の内容(4)ア「関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること」イ「関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていること」に基づいて設定された単元である。地域社会における災害の防止について、見学、調査したり、資料を活用したりして調べ、関係機関は、地域の人々と協力して、災害の防止に努めていることや、関係機関が相互に連携し、緊急に対処する体制をとっていることなど、そこに従事している人々の工夫や努力を考えることができるようにすることをねらいとしている。

事例として、戸畑消防署や消防団を取り上げる。戸畑消防署は、学校からも近く、実際に見学もしやすい。したがって、子どもの興味関心を高め、意欲的に学習に取り組むことができる教材であると考えられる。また、昨年の4月に起きた熊本地震や今年の7月の朝倉市の大規模水害の際にも、協力体制を取り、戸畑消防署からも消防士が派遣され、災害時にも対応している。

「地域の安全を守りたい」「人々の命を救いたい」という強い信念をもっている消防署の方々の話を聞いたり、普段気付かない学校や地域の消防設備や防火の工夫、地域の人々が参加する消防団の活動、北九州市の災害への取組などを調べたりする活動を通して、地域の安全を守るために大切なことや地域社会の一員として自分ができていることを考えていくことのできる価値ある教材である。

- 指導に当たっては、以下の手立てを講じる。

① 問いの焦点化の工夫

本単元の指導に当たっては、一時間の学習の中で、ねらいに迫る問いを焦点化し、話し合う活動の中核に位置付ける。

本時では、消防団と消防署の仕事を比較する。類似点や相違点について話し合う中で、消防団の方が、自分の仕事をもちながら、地域の安全を守る活動に従事していることに気付かせるようにする。そして、「なぜ、大変な消防団の活動を続けているのだろう。」と問いを焦点化し、消防団の方の思いに迫ることにより、自分たちの手で地域の安全を守るために活動していることへの理解へとつなげていくようにする。

② 思考を深める話し合い活動の工夫

子どもの思考を深めるために、1時間の学習を「起承転結」ととらえ、「転」場面で考えを話し合うようにする。

本時では、個人、班、全体の順に話し合う場を広げていき、消防団の仕事に対する考えを広げ深めることができるようにする。班や全体での話し合いでは、消防署や消防団について調べた事実を根拠に自分の考えを発言するように促すとともに、友達の考えと比べやすくするために、付

箋とホワイトボードを活用する。

③ 学習評価の工夫

毎時間、一人一人がまとめと振り返りを行う活動を設定し、考えを見取るようにする。まとめについては、全体でまとめを交流する前に「自分のまとめ」として、本時学習のまとめをノートに記述するようにする。本時では、めあてを振り返り、消防団の仕事についてわかったことを書くように助言し、評価規準に照らして評価を行う。

また、振り返りについては、1時間の学習を通しての自分の考えの変容や、学習の過程でできるようになったことなどを記述し、興味関心等を見取るようにする。

4 小単元の目標

社会的事象への 関心・意欲・態度	○ 火災などの災害から地域の人々の安全を守るための諸活動に関心を持ち、それを意欲的に調べることを通して、地域社会の一員として地域の人々の安全な生活の維持について考えようとする。
社会的な 思考・判断・表現	○ 地域社会における災害から人々の安全を守る工夫や努力について、学習問題や予想、学習計画を考え表現することができる。 ○ 安全を守るための関係機関の働きや地域の人々の工夫や努力を地域の人々の生活と関係付けて考え、適切に表現することができる。
観察・資料活用の 技能	○ 火災などの災害から地域の人々の安全を守るための諸活動の様子を的確に見学したり、調査したりするとともに、調べた過程や結果、資料などを読み取ったりまとめたりすることができる。
社会的事象について の知識・理解	○ 火災などの災害から地域の人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々の工夫や努力を理解する。

5 指導計画（総時数 12 時間）

	主な学習活動・内容	指導・支援上の留意点	◇評価規準及び評価方法
つかむ	<p>1 火事の写真やイラスト，市内で起きた火事に関する資料などから，災害の恐ろしさについて話し合い，学習問題をつくり，学習計画を立てる。 ①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(学習問題) わたしたちのまちは，どのように火事から守られているのだろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な災害についての気付きを話し合うことができるように，火事の写真，消防署や消防団の活動の写真，火事の件数のグラフを提示する。 ○ 学習問題を設定することができるように，誰が，どのように消火しているのか，火事が起きないようにどのような工夫をしているのかを予想し，話し合う活動を設定する。 ○ 学習計画を立てることができるように，疑問や予想を出し合い，調べたいことを話し合う活動を設定する。 	<p>【関】 学校や地域がどのようにして火事から守られているかについて関心をもち，意欲的に考えたり，発表しようとしたりしている。 (行動，ノート)</p> <p>【思】 火事から人々の安全を守る工夫や努力について，学習問題や予想，学習計画を考え，表現している。 (発言，ノート)</p>
	<p>2 戸畑消防署を見学し，火事から人々の暮らしを守る消防署の仕事について調べる。 ②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防署の活動を調べることができるように，消防署の設備や消防車などを見学したり，消防士にインタビューしたりする活動を設定する。 ○ 関係機関の連携や，速く火事現場に行くための工夫について考えることができるようにするために，消防署見学の中で通報後，短時間で消防車や関係機関が到着する様子についてインタビューする活動を設定する。 	<p>【技】 火事発生時や火事に備えた取組，消防署の工夫や願いなどを見学やインタビューで具体的に調べ，まとめている。(ワークシート)</p>
調べ，考え，表現する	<p>3 消防署では，消火活動以外に，どのような仕事しているかについて話し合う。 ①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消防署の工夫や努力について考えることができるようにするために，消火活動以外の仕事や救急車・救助隊の仕事について，見学や調査で分かったことを話し合う活動を設定する。 	<p>【思】 調べたことを基に，消防署の工夫や努力について考え，適切に表現している。 (発言，ノート)</p>
	<p>4 校内の消防設備の種類や配置を調べて，学校がどのようにして火事から守られているかについて話し合う。 ②</p> <p>(1) 校内の消防設備の種類や配置について調べる。 (2) 校内の消防設備の種類や配置について調べたことを基に，学校がどのようにして火事から守られているかを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内の消防設備の種類や配置を調べることができるように，校内の消防設備を班ごとに調べる活動を設定する。 ○ 学校がどのように火事から守られているか考えることができるように，校内の消防設備や避難訓練の計画などの資料を振り返る。 	<p>【技】 学校の消防設備の種類や配置を調べ，まとめている。(発言，ノート)</p> <p>【思】 学校がどのようにして火事から守られているかについて考え，表現している。(発言，ノート)</p>

調べ、考え、表現する	<p>5 学校の周りの消防施設を調べて、地域がどのように火事から守られているかについて話し合う。②</p> <p>(1) 地域の消防設備の種類や数を調べ、地域がどのようにして火事から守られているかについて話し合う。</p> <p>(2) 消防団の活動を調べて、地域の安全を守る消防団の努力や思いについて話し合う。 <本時></p> <p>6 わたしたちのまちが、火事からどのようにして守られているかについて話し合う。①</p> <p>7 火事以外の災害の恐ろしさについて調べ、北九州市の災害への取り組みについて話し合う。②</p> <p>(1) 地震・水害・台風の災害について調べる。</p> <p>(2) 災害について調べたことを基に、防災について自分たちができることを話し合う。</p>	<p>○ 消火栓や防火水槽やその役割について考えることができるように、地域の消防設備の種類や数の資料を提示する。</p> <p>○ 消防団の活動が分かるように、消防団についての資料を提示する。また、消防署の活動と比較し、地域の安全を守る活動をしていることについて考えるようにする。</p> <p>○ 消防団の地域を守りたいという思いを考えることができるように、消防団の方のインタビュー動画を準備する。</p> <p>○ これまでに調べたことを振り返り、まちが火事からどのように守られているのかを話し合うようにする。</p> <p>○ 「救急車じゃないとダメですか？」のポスターを提示し、なぜ、こんなポスターがあるのか考え、自助の大切さについて話し合うようにする。</p> <p>○ 地震や水害、台風といった災害の恐ろしさや対策について考えることができるように、被災地の写真や資料を提示する。</p> <p>○ 防災について自分が取り組むことを考えることができるように、調べたことを基に話し合う。</p>	<p>【技】地域の消防設備の種類や数を調べ、分かったことをノートに記述している。 (発言、ノート)</p> <p>【思】消防団の地域の安全を守るための工夫や努力について考え、表現している。 (発言、ノート)</p> <p>【思】安全なまちづくりについて考え、表現している。(発言、ノート)</p> <p>【技】地震・水害・台風の災害について、写真などの資料を活用して調べ、分かったことをノートに記述している。(発言、ノート)</p> <p>【思】災害の恐ろしさから、普段の防災への取組や自分自身の備えについて考え、表現している。(発言、ノート)</p>
まとめる・深める	<p>8 調べて分かったことや考えたことを基に、防災レポートを作成する。①</p>	<p>○ 学習の足跡等で学習を振り返りながら防災レポートを作成することを通して、自分なりに災害から地域を守るために大切なことを考えることができるようにする。</p>	<p>【関】まちの安全を守るために自分も地域の一員として協力しようと考えている。 (発言、防災レポート)</p>

5 本時の学習（8時間目/全12時間）

於 4年1組 教室

- (1) 主眼 消防団の仕事について調べ、消防署の仕事と比較したり、消防団の方が自分の仕事もちながらも消防団として働いている理由を考えたりする活動を通して、消防団が地域の安全を守るために努力していることについて考えることができるようにする。
- (2) 準備 資料「消防のしごと」、消防団の方の火災があった日の一日の様子資料
- (3) 展開

主な学習活動・内容	○ 指導・支援上の留意点 【観点】評価規準（評価方法）
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="167 526 614 616">  <p>消防団って、どんな仕事をしているのだろう。</p> </div> <div data-bbox="287 622 1316 683"> <p>(めあて) 消防団は、どのような仕事をしているのだろう。</p> </div> <p>2 消防団の仕事について調べる。</p> <p>3 消防団と消防署を比べ、同じところや違うところについて話し合う。</p> <p>(1) 個人で考える。 (2) グループで話し合う。 (3) 全体で話し合う。</p> <p>4 消防団を続けている理由を考える。</p>	<p>○ 本時のめあてを確認することができるように、前時を振り返り、地域に消防団があることを確認し、どのような仕事をしているのだろうという問題意識をもつようにする。</p> <p>○ 消防団の仕事について発表し合い、板書に整理することができるように、資料「消防のしごと」や消防団の方の火災があった日の一日の様子資料を基に消防団の仕事調べる。</p> <p>○ 消防団と消防署の違いに気付くことができるように、消防団と消防署を比べ、類似点と相違点に着目するようにし、自分の考えは、付箋に書くように助言する。</p> <p>○ 自分の考えを作ることが難しい場合には、資料「消防のしごと」を示し、学習の足跡の消防署の仕事と比べ、類似点を1つずつ確認しながら、付箋に書くように助言する。</p> <p>◎ グループの話合いでは、ホワイトボードで考えをまとめることができるように、各自が考えた類似点や相違点の付箋を操作したり、矢印や言葉を書き込んだりする。</p> <p>○ 全体の話合いでは、類似点や相違点を板書に整理することができるように、1つのグループの考えを基にして話し合う。</p> <p>○ 消防団の方の思いに迫ることができるように、相違点を取り上げる際に、地域の消防団の方が普段自分の仕事をしていること等を取り上げ、「なぜ、大変な消防団を続けているのだろう」と問いかける。</p> <p>○ 消防団を続けている理由をノートに書き、全体で話し合うようにする。</p> <p>○ 地域の安全を守るために活動を続けていることを確認することができるように、消防団の動画を視聴する。</p> <p>【思】消防団の地域の安全を守るための工夫や努力について考え、表現している。（発言、ノート）</p>
<div data-bbox="183 1635 782 1691"> <p>なぜ、大変な消防団の活動を続けているのだろう。</p> </div> <div data-bbox="183 1691 558 1803">  <p>ぼくは、自分のまちだから守りたいと考えていると思うよ。</p> </div> <div data-bbox="566 1691 845 1803">  <p>私は、消防団の活動にやりがいを感じているからだと思います。</p> </div> <div data-bbox="853 1691 1388 1803">  <p>ぼくは、この地域が好きで、もっとよいまちになってほしいから続けていると思います。</p> </div>	
<p>5 本時の学習のまとめと振り返りを行う。</p> <div data-bbox="191 1926 1420 2004"> <p>(まとめ) 消防団は、消防署と協力して火を消す活動をしたり、訓練などをしたりしている。また、地域を守りたいという強い思いをもっている。</p> </div>	<p>○ 「自分のまとめ」を書くことができるように、消防団がどのような仕事をしてきたかについて、分かったことをノートに書くように助言する。</p> <p>○ 学習の振り返りをノートに書くことができるように、助言する。</p>

